

アイスホッケー大学交流戦

来月5日、苫小牧で開幕

明治、東洋、中央、早稲田、同志社、慶応 組み合わせ決まる

道内で夏の強化を図る関東や関西の大学アイスホッケー部を集めて行うプレシーズン試合、第2回大学交流戦苫小牧大会(道アイスホッケー連盟主催、苫小牧市、同市教委、同市体協共催)が9月5日、白鳥アリーナで開幕する。出場6チームの組み合わせが別表の通り決まった。

苫小牧アイスホッケー連盟主管、苫小牧民報社の協賛。

スポーツによる街づくり実行委員会の運営による事業として昨年、初めて開いた。前回と同じく明治、東洋、中央、早稲田、同志社、慶応が出場する。

第1回大会のトーナメント方式(順位決定戦込み全7試合)を改め、3チームずつの組別予選と同順位による最終順位決定戦(全9試合)を行う方式とした。

予選は前回の奇数と偶数順位をもとにA・B組に分けた。初代覇者は、伝統校の明

Aブロック				Bブロック			
明	治	大	学	東	洋	大	学
中	央	大	学	早	稲	田	大
同	志	社	大	慶	応	義	塾
			学				大

【リーグ戦】

9月5日(水)		
中央大学 - 同志社大学	16:00	
早稲田大学 - 慶応義塾大学	18:30	
9月6日(木)		
東洋大学 - 慶応義塾大学	16:00	
明治大学 - 同志社大学	18:30	
9月8日(土)		
明治大学 - 中央大学	16:00	
東洋大学 - 早稲田大学	18:30	

【順位決定戦】

9月9日(日)		
Aブロック3位 - Bブロック3位	10:00	
Aブロック2位 - Bブロック2位	12:30	
Aブロック1位 - Bブロック1位	15:00	

治。決勝では4-2で東洋を下した。次の冬の日本学生氷上競技選手権(インカレ)に照準を合わせる各チームが、プレシーズン強化序盤のヤマを大会にぶつけてきそう。

出場の関東勢のうち、東洋が前回の釧路インカレで6連覇を果たした。公式戦の関東学生選手権(4月)では2年ぶりに法政が優勝し、今回の交流戦に参加する東洋が2位、早稲田、明治が3、4位に続いた。

昨春秋、冬にかけた関東学生リーグでは、中央が上位陣と好勝負して5位となった健闘を見せ、2部だった

慶応も1部リーグ昇格した。関西勢の強豪、同志社はインカレ8強進出と堅調ぶりを発揮している。水都・苫小牧で育った出身選手も多数。見ごたえある試合が繰り広げられそう